

就労支援に関するアンケート（A型・移行）

事業所情報

① 事業所が提供しているサービスの種類

日中系：	<input type="checkbox"/> 就労定着支援事業所	1	夜間系：	<input type="checkbox"/> 共同生活援助	2
	<input type="checkbox"/> 就労移行支援事業所	3		<input type="checkbox"/> 施設入所	2
	<input type="checkbox"/> 就労継続支援A型	7			
	<input type="checkbox"/> 就労継続支援B型事業所	3			



② 「日常的に」利用者様に関する情報共有を図っている関係機関はどこですか？（複数回答可）

相談支援事業所	7
医療機関	1
障がい者就業・生活支援センター	7
ハローワーク	2
家族	5
基幹センター	3
その他	0
計	25



③ 上記②の質問でお答えいただいた関係機関との情報共有をするにあたり、どのような形で連携を取っていますか？

- ① 就労支援ネットワーク会議など
- ② 病院受診同行支援。

④ 「一般企業に就職」を目指す為に訓練の場として貴事業所を利用する際どのような点に配慮していますか？

- ① 作業を通して時間はかかりますが一般常識・社会常識を身に着ける。
- ② 利用者の意思決定を優先しています。
- ③ 利用者の能力が発揮できるように心がけている。
- ④ 作業内容を理解しているかその都度確認をする。
- ⑤ 難しい作業にも挑戦してもらい能力UPを目指す。
- ⑥ 面接時の練習程度
- ⑦ 本人のニーズと自己理解・他者理解
- ⑧ 働くうえで必要と思われる挨拶や報告など、基本的な事を中心に支援しています。
- ⑨ 「相談しやすい体制づくり」、「就職を目的とするのではなく、就職後継続することを目的とした支援」
- ⑩ 障害特性に応じた支援の提供
- ⑪ 生活リズムを整える。⑫ 生活リズムを整え勤務時間の調整・働くことに体調を整えステップアップを促す。

⑤ 障がい福祉サービス利用者の方でステップアップを目指す為に（B型→A型・B型→一般就労）等訓練の場として事業所を利用する時にどのような配慮を行っていますか？

- ① 利用者の支援に沿った支援はもちろんですが、一般就労を目指す上で、他者とのコミュニケーションが大切だと考えています。まずは社会人として挨拶を出来るようにしています。
- ② 失敗した後に行動により成長することを理解した上で作業経験を重ねる。
- ③ 簡単な作業から訓練しレベルアップを目指す。見守りが必要。
- ④ 利用者に向う作業を見つけ集中して行えるようにする。

- ⑤ 継続しての利用を希望されている方が多い為、出来るだけ長く利用してもらえよう取組しかしていない
- ⑥ 本人のニーズと自己理解・他者理解
- ⑦ 保護者への連絡など、利用者さんを介して行うようにしています
- ⑧ 障がい特性に合った配慮以外の特別な配慮を行わない
- ⑨ 障害特性に応じた支援の提供 ⑩ 無断欠勤をなくす。 ⑪ リズムを整える。
- ⑫ 原拓理由を明確にして本人の意向に沿い声掛け傾聴にも配慮しサポートを行う。

⑥ 利用者の要望や相談はどのようなものがありますか？

- ① 希望している職種の企業見学や実習。
- ② 余暇活動において運動プログラムの導入です。
- ③ 利用者間・家庭内・進路の相談
- ④ 利用者同士の間関係・金銭トラブル
- ⑤ コロナになり自転車通勤が出来なくなり自転車通勤をしたい。
- ⑥ コロナになり自由外出が出来ないため自由外出をしたい。
- ⑦ 出来る限り長く勤めたい
- ⑧ 人間関係、不安なこと、将来のこと、モチベーション低下、体のこと等
- ⑨ 給料交渉 ⑩ 仕事上の悩み。作業内容 ⑪ 長く働きたい。（時間）
- ⑫ 人間観での悩み相談・家族相談・作業内容の相談

⑦ 利用者の就労意欲・作業欲を保つために取り組んだ事例や解決に繋がった事例等あったら教えてください。

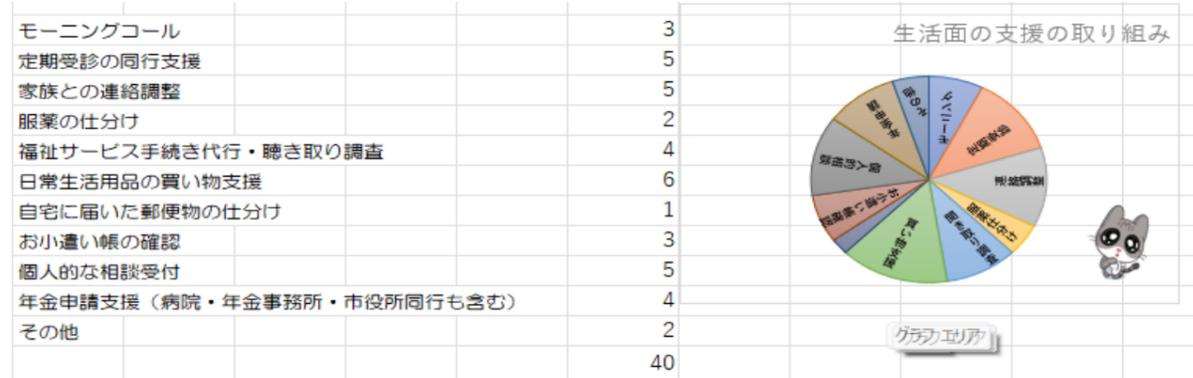
- ① 清掃作業を希望している事から施設外就労や清掃訓練を行い就労意欲に務める。
- ② 一般就労に向け現地工場において、施設外作業をしてその工場に就職ができた。
- ③ 作業意欲を保つために同じ作業ばかりにならないように定期的に新しい作業に取り組んでいる。
- ④ 実現したい将来像と希望しない将来像をイメージし、可能な限り希望する将来像に近づけるためのサポートを行った。
- ⑤ 定期的なハローワーク訪問（求人検索）・現場実習・実際に障がい者雇用されている方の就労見学・企業見学。
- ⑥ 話をすると⇒思考や視野を広げる⇒自分で考え自分で決断してもらう⇒行動に移す⇒話をすると（反省する。次の計画を立てる）を繰り返す。
- ⑦ 利用者のアセスメントをとった上で最適なアプローチを行う。
- ⑧ 施設外を経験しいろいろ身につけスキルアップし自身の自信の繋がり、一般就労へ自立ができました。

⑧ 就労部会を設置したのち、就労に関する勉強会や研修会等企画して欲しい内容などありますか？

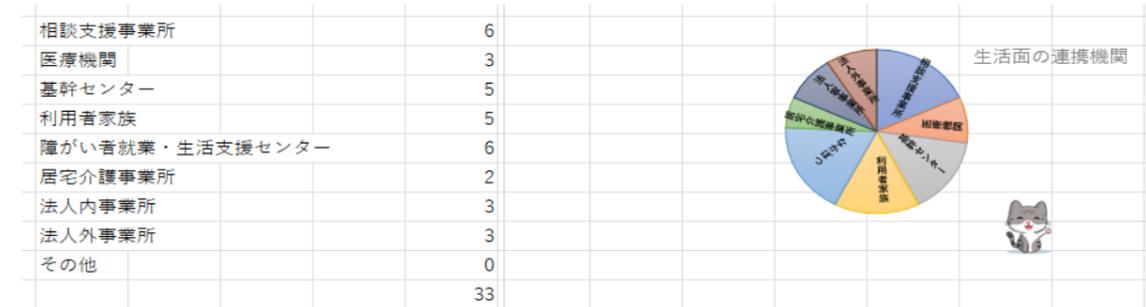
- ① 飯塚圏域は通勤手段でその要因の改善を社会資源の創出として考えていければと思う。
- ② 事業所間の相互理解の上で仕事のやり取り相談会など出来る部会。
- ③ 会議等の内容を、ネットのアーカイブでいつでも見れるようになれば、ありがたいです
- ④ 先進地視察(コロナが収束したら)
- ⑤ どういった企業が、どのような人材を雇用したいと考えているのか
- ⑥ 就労に関する勉強会や研修会を企画するための意見交換会。
- ⑦ 就労部会の目的や方向性を明確かつ計画を考える勉強会。
- ⑧ 事業所の横のつながり、管理者向けの研修などとして欲しいです。
- ⑨ 就労されている方の障害別の比率をしりたい。

⑨ 仕事面以外の「生活面における支援」の中で、利用者からの要望として事業所としての取り組まれている内容がありましたら教えてください。

就労支援に関するアンケート（A型・移行）



⑩「生活面における支援」をしている際に事業所として対応困難な場合どの機関に相談しますか？



⑪生活面を支えていくために取り組んで欲しい勉強会・研修会等ありますか？

①難しい問題であり、これからの課題。

②生活面に関する勉強会や研修会を企画するための意見交換会

③年金申請のやり方、ヘルパー事業所との意見交換

④限度額更新・受給者証の更新で役所からと説いた場合、一度事業所へ持参していただき中身を確認。

して、記入欄の確認と記入を一緒に行う。その後代行し持参する。

⑤服薬確認は服薬時間の声掛け・確認を行う、その際1ヶ月カレンダーに服薬時間と服薬確認をした支援員の名前を記載し受信時Drへ提出している。

⑫当事者の方が飯塚圏域において就労サービスを利用し、生活を営んでいく上で「こんなことができればいいのに・・・」「こんな仕組みがあったらいいのに・・・」と感じたことがありますか？

その課題に対してどのような仕組みがあれば解決に繋がると感じますか？

①就労支援専門のための運行バス（西鉄バス・廃止路線・便の減少）

②困った時のAIチャット

③1人暮らしの体験ができるような仕組み（当事者に金銭的な負担が無いもしくは少ないこと）

④計画相談員の底上げ⑤利用者さんたちが気軽に参加出来るような交流会。

⑥就労支援当たるうえで手続きの補法や利用者から書類の事で相談された際の各支援機関の情報など。

⑬飯塚圏域障がい者自立支援ネットワーク就労部会について地域の就労支援について一緒に考えて頂ける方をお申し込みします。

参加できます 5事業所

参加できません。 4事業所

